

かほの魚信

1996年10月1日

Vol. 9

発行 北川かつぱの会 東村山市野口町 3-11-8
三島方 TEL 0423-91-2365

マツタケを
夢見た十五夜号



大盛況だった北山わんぱく夏まつり！
子どもも大人もカヌーやザリガニ釣りを満喫

黄金色の稲穂がゆらめく秋の空、北山田んぼも実りの時季を迎えました。この北山公園で8月の真夏日、初めての北山わんぱく夏まつりが市民の手で開かれました。出店や子ども太鼓、ザリガニ釣り、カヌー遊び、野外映画会など、企画はもりだくさん。たくさんの人々が集まり大盛況でした。野外で遊ぶ楽しさを改めて再認識できたのではないのでしょうか。

11月には第3回目の北川クリンアップ作戦。そして清流復活へ向けてかつぱの会としても、いよいよ具体的にプランを策定していきたくて考えております。チョー多忙ではありますが、忙中閑有り。各々方、遊びも不可欠ですゾ。

北山公園「夏まつり」に「なんと1千人」

まつたくまつたく驚いてしまいました。かつばの会も実行委員として参加した第1回の北山わんぱく夏まつりに1000人も市民が集まったナンテ。主催者発表（ホ



ザリガニ釣りはフルメダカ

復元を願つてという主旨の市民手づくりの夏まつりが、夏休みの8月4日、北山公園を中心に終日開かれました。

十数団体で構成された実行委員会が、東村山市、教育委員会、商工会の後援を受け、フル稼働でまつりを準備。市役所の若き行政マンたちも数日前からカヌーのために北川をせき止め、ザリガニ釣り用の竹を刈りにと、大活躍。

当日は「東村山祭太鼓」の子どもたちの和太鼓でオープニング。続いてパントマイムや盆踊りと続



まつりだまつりだドントドン



北川にカヌー

き、北川では子どもたちが初めてのカヌーに興じて大騒ぎ。昼には地元ブルースの店丁Jの飛び入り演奏。

出店では焼き鳥、焼きソバがおいしい匂いをふりまき、有機野菜の販売や、フリーマーケット、夏まつりオリジナルTシャツも販売。ザリガニ釣りも大にぎわい。夜は北山小学校校庭で野外映画会「となりのトトロ」が上映され、メイやサツキと一緒に、大人も子どもも一晩のフアンタジーに酔いしれました。

来年もぜひという声に、実委の面々も東村山の夏の風物詩になれたいネと感激の一日でした。

ントは915人ぐらいカナ」とはいえ、多くの市民（オトナもコドモも）が楽しんでくれてよかつたよかつた。

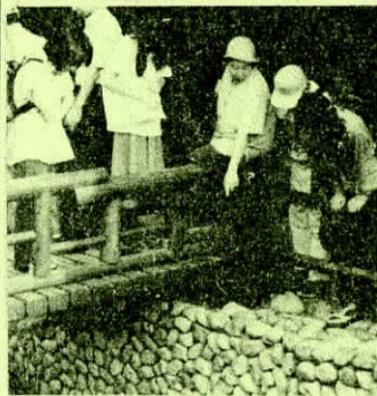
北山公園一帯の水と緑の保全、

川と遊べる日野市潤徳小を探検

第6回かっぱ探検隊は、9月8日、水辺と一体となった小学校として有名な日野市潤徳小学校を訪れました。建設省の「水辺の学校」事業に興味があるので、先進事例として見ておきたかったです。

日野市水路清流課長の笹木さんに市役所でお話を聞きました。市民とのパートナーシップは信頼とほどよい緊張関係が大切とのことです。

その後、潤徳小に沿って流れる



川を遊べる日野市潤徳小の児童

向島用水路を見学。コ

ンクリ護岸を壊して校庭から水に入って遊べるように整備した担当の熱意に、参加者は感心しました。

東村山の北山小と北川の関係を考えるうえで大変参考なるフィールドワークでした。

●水辺の楽校シンポジウムに参加

8月24日、「水辺の楽校」に関するシンポジウムが調布市民の主催で開催されました。

水辺の楽校とは、川を子供達の環境学習のフィールドとして整備する建設省の事業です。

当日は、学校に川を引き込んだり、校庭から直接川へ降りれるようにした事例が報告され、

●第2回水と緑の市民懇談会

9月5日、東村山の緑地地図をもとに、参加市民団体が重要と思う自然や問題をマッピングしました。

市内の大きな緑地として、八国山・北山周辺、全生園、野火止用水、狭山公園、自転車道、小平霊園、神社・屋敷林等があげられました。

また、市内を流れる北川、前川、空堀川等の問題点、湧水ポイントの自然の重要さも指摘されました。

人間が見るだけの対象としてでなく、生き物に重要な緑と水を保全・復元することが求められました。

子供達の活動報告もありました。危険だから川で遊んじゃいけない、という声があります。しかし、今の大人は川遊びで多くを学んだのではないのでしょうか。川「の危険」を学ぶことも子供達の成長に重要なことです。必要なのは、子供を見守れる大人の姿勢ではないでしょうか。

第3回北川クリーンアップ作戦

北川の清流復活を目的にはじまった川そうじ、クリーンアップ作戦も第3回目。東村山市役所と流域住民とのジョイントで毎回参加者が増え、平均にして150名を越える人々が、熱心に川の中に入り、たくさんさんのゴミを収集しています。

北山小の子どもたちや先生、校

長先生も参加するなど、クリーンアップ作戦も定着化してきました。下水道の完備により水質も徐々によくなり、北山公園周辺では、カワセミやコサギなどが飛来するようになったのは先刻ご承知のことと思われませんが、恒常的な働きかけでさらに北川の復活が近づいたと言えるのではないのでしょうか。

ということで、秋晴れ(予定)の十一月。第3回目のクリーンアップを実施したいと思います。

日時：十一月十七日(日)

十時～十二時

集合場所：民家園または精心幼稚

園前のどちらかへ

持ち物：ビニール手袋・

長靴・タオル

*終了後、北山公園で豚汁(無料)&ジュース・ビールで懇談会有り。

第7回かつぱ探検隊秋のハイキング

奥多摩のポピュラーなハイキングコース。七九三メートルという低山ながら、この季節はひときわ紅葉が美しく、御岳山や御前山など展望がばつぐん。歩行時間は5時間程度。ビギナーでも大丈夫。

日にち：十一月三日(日)

集合：東村山駅改札口七時三十分、現地は「青梅線軍畑駅九時十五分

参考コースタイム：青梅線軍畑駅

(三〇分)～高源寺(一時間一〇

分)～高山(三五分)～惣岳山

(一時間四〇分)～青梅線御岳駅

持ち物：昼食・雨具・ザック・軍

手・お菓子・水筒・軽登山靴

会費：五〇〇円

申込先：三島(TEL:0423-91-2365)



●第3回水と緑の市民懇談会予告

第3回は、前回確認した東村山の自然の問題点について深くほりこみ、デイスカッションします。

特に、北川等の川の自然環境をどのように保全・復元していくのか？、生物の生息からみた緑のあり方はどんなものなのか？がメインなテーマとなる予定です。

かっぱの会としては、北川の清



流復活や八国山・北山周辺の自然の保全についてデイスカッションしていきたいと考えています。

また、会が注目している「建設省・水辺の楽校事業」についても積極的に提案する予定です。

懇談会に参加してみたい、という意欲ある方、御一報下さい。

●第3回水と緑の市民懇談会

◇日時/10月9日(水)7時

◇場所/未定 ◇問合せ/93・

5111(市緑政課 根建)

本林のアトリエ

日時 10月6日10時〜3時

場所 都立狭山公園(太陽広場)
劇団風の子による「トキが滅びるとき」午前11時開演や、手で見ると彫刻(千葉県立盲学校作品展)のギャラリ、音の空間のリサイクル風鈴、かっこう笛づくりなど、盛り沢山のイベントがあり、かっぱの会も参加しています。

【トピックス】コンクリート護岸がなくなる!

9月10日の朝刊は、日本全国に衝撃を走らせました。

なんと、建設省が河川工事からコンクリートをなくす、と言言。治水一辺倒の河川行政が百八十度転換したのです。

二〇〇一年までに改修予定の大河川や中小河川、溪流(約九千八百も)のうち、約半分はコ

ンクリートを一切使わず、植物や木、石で河岸を保護する。

約四分一は、コンクリートを土で覆い植物を生やす。残りの急流等でやむをえず使っても、今後の技術開発でコンクリートのない川にするというのです。

北川からコンクリート護岸がなくなる日も近いのでは？

読者投稿

「よく遊び、動き、
学ぶかっぱの会」

何やらおもしろそうで気になるだけれどいい年して人見知りするので気軽に入って行けず柱の影から見ていた「かっぱの会」がある日手にした「かっぱ通信」に「トトロの森の保全」北川の清流復活」とある。こういうフレーズに弱い私、加えてカヌーに乗せてあげるよ、となるともう物怖じしている場合ではない。即入会。

それからというもの楽しいおもしろのクリスマスパティー、北川の川掃除に参加し、ついには念願のカヌーにも乗せて戴いた。それも



北川で！。生き物も自然も人も自

然なままが良いという理念のもと様々な企画を提起してくれるメンバーの魅力は筆舌し難い程。そのスタッフと東村山唯一のブルースバーでスウィグするのも最高。一母さん、子育てが終わってからなんて言っていると体が動かなくなるよ」と娘に励まされたので、子供達が清流で遊ぶ風景をイメージしながら頑張ることにした。

(青葉町 梅田知里子)

おすすめのお店

今回、お薦めのお店は「一期一会 一生に一度しか会う事のない人との出会い、そんなことばを店の名前にしてるこだわりの店を紹介いたします。

薩摩の地鳥の料理を中心に、季節の旬なものを大事に大事につくってくれます。居酒屋風な店構えといい、酒好きには堪らないお店です。

TEL:0423-95-6695

今月の一冊

『さらば、日本の川よ』

(野田知佑著、思想の科学社)

野田さんの川旅遍歴書だ。日本の川を中心に26河川でのカヌー下りが紹介されている。川が変わってしまいかワイそうだと嘆くだけでない。官僚による川イジメ完了にむけた戦う宣言書でもあるのだ。本書カバーにかっぱの絵が出ています。かっぱの会へのエールかな？

今月の一曲

● W・アッカーマン

「月に向かつて」

D255131

今やニューエイジの代表格となつたウインダム・ヒル。80年代には自然を感じるサウンドが大反響を呼んだ。レーベル創設者の彼が作ったこの一枚は、秋の夜を詩情豊かに描いたギター・アンサンブル。月の美しい晩、明かりを消して静かに耳を傾けてみては？ (SEIKO)

●パロン宮本の川の辛口講座【第6回】

多自然型川づくりりは川を救えるか？ (その4)

先日の台風17号は、各地に大雨をもたららし、浸水被害がでた川も多くあったようです。

台風直撃の日、空堀川を見にいくと、普段は水のない河川敷一杯に泥流が流れ、河岸近くまで水位が迫っていました。

川の自然は、洪水の影響ぬきに語れません。瀬や淵という多様な地形は、洪水の力でつくられ、生き物の住処となります。

植物は洪水の影響を頻繁に受け、不安定で遷移の初期にとどまり、特有の植物相もみられます。

日本の川は、特に普段と洪水時の流量の差が大きく、このことが日本特有の川の自然環境を成立させているのです。

つまり、多自然型川づくりりは、洪水を安全に流すという治水機能とともに、洪水による影響を許容するという川づくりが求められるのです。(つづく)

水がき君①

作・とんちやん



木の葉流せば(二)

菅野結花

水源から河口まで、流れの過程で住む生物は違うが、自然が手つかずの森の中から人工の極み、護岸沿いまで、体系こそ異なれ一定の、あの強弱というライフサイクルが在る。一見単純そうな都市河川でも水が流れる限りは多様な生命を宿しているのに驚く。

回帰本能を持つ鳥や魚以外の「土地っこ」にとって中流河川での冬越しは大きな試練である。秋は爽り、豊み、彼らの命を大きく左右する準備期間である。食物に限らず日光や雨も植物にとって来春を迎える為の糧となる。

雌カマキリが卵のタンパク源のための雄を食す、その葦原の下で枯葉にしがみつきヤゴが浮流旅行を試みていた。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全と、その前を流れるかつての水ガキの生息地北川の清流復活という2つの大きな夢をもってつくられた「北川かっぱの会」も会員数が早くも90名を数えるにいたりました。

自然が大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集いたします。

ノンビリ、楽しくがモットーの会です。どうぞご一報下さい。

会費：年間3,000円。

かわいらしい会員証とかっぱ通信(隔月刊)をお送りします。

かっぱ例会：毎月第2土曜日。

問い合わせ・申し込み先：

〒189 東村山市野口町3-11-8

三島方 ☎ 0423-91-2365

会費振込先：

郵便振替 00120-6-104476

(加入者名北川かっぱの会)

●お知らせ

かっぱの会会員の更新時期がやってまいりました。更新会員の皆様には別紙振替え用紙を同封しますのでよろしくお願ひします。

●編集後記

早いものでこの通信も9号目。12月発行は10号記念特大号。楽しい恒例のクリスマスパーティーもあるので乞うご期待。

INFORMATION

●水俣・東京展

「水俣」の事実は現代日本に何を語るのか。

日時／9月28日～10月13日

11時～9時(最終日6時)

場所／品川駅前特設会場

入場／1500円、高校生以下700円

主催／水俣・東京展実行委員会

問合せ／☎03-5485-6641

●'96森のアトリエ

日時／10月6日(日)10時～3時

場所／都立狭山公園・太陽広場

(雨天時：富士見公民館)

入場／無料

主催／森のアトリエ実行委員会

問合せ／☎0423-47-6158(合志)

●自然講座「しぜんとあそぶ土ぐえを作ろう」

日時／10月12日(日)

対象／小学3年以上一般30名

要申込

問合せ／☎0428-83-2037

(奥多摩ビジターセンター)

●東村山市産業まつり

11月9日(土)～10日(日)にかっぱの会も参加。市役所ロビー談話室コーナーと駐車場に出展。皆さん遊びに来てください。ミニシンポジウムや面白い出店も考えています。